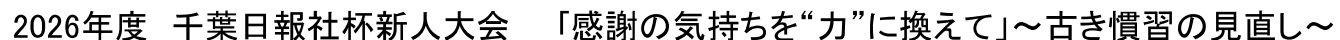


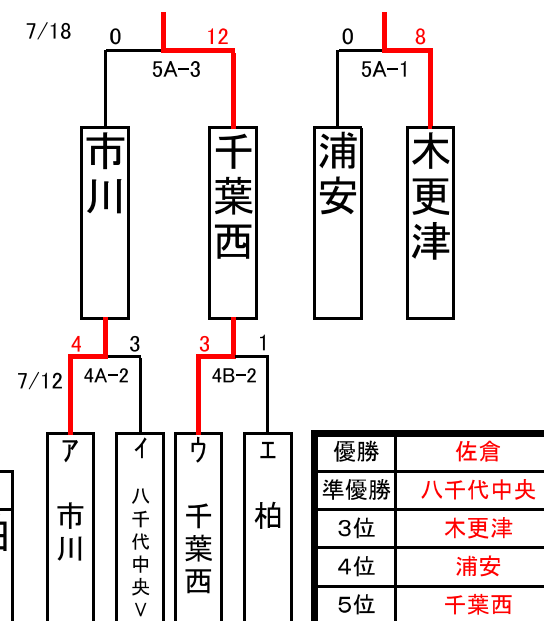
2026年千葉日報社杯新人大会 大会要綱

大会進行方法	千葉3ブロックに所属するチームの中学2年生以下の登録選手によるトーナメント戦を行う。 関東連盟の規程に沿った合同チーム(他チームの選手応援を受けるチーム含む)、複数参加チームの出場を認める。ただし、本大会に限り、千葉3ブロック長承認のうえ応援を受ける人数を増員する場合がある。合同チームは合同大会用の選手登録書を、複数参加チームは子チームの選手登録書を野球ねっとで作成の上、所属ブロックのブロック長及び大会主管ブロック長の確認・承認を受けること。 本大会は東関東支部秋季大会の5つのシード権をかけた大会で、トーナメント戦の準決勝に進出した4チームはその時点でシード権を獲得し、準々決勝で敗退した4チームでトーナメント戦を行い勝ち上がった1チームが5つ目のシード権を獲得する。なお、子チームを関東連盟に登録しているチームで複数チームが勝ち上がった場合は2チームにシード権を与え、子チームを登録していないチームで複数チームが勝ち上がった場合でもシード権は1チームのみとする。
出場資格	東千葉ブロック7(うち子チーム1)、西千葉ブロック13(うち子チーム2)、南千葉ブロック11、計31チームに所属する中学2年生以下の登録選手で、ベンチ入りは1チーム10名～25名以内とする。 監督は試合前、本部に 所定のメンバー表5部 指導者カード 選手カード 投球数確認シート(様式A・様式B)のほか、合同チームと複数参加チームは 大会選手登録書を提出し、大会役員、運営責任者(グラウンド提供チームの事務局長)または審判員による確認を受ける。 選手カードは毎試合必ず背番号順にセットしてください。背番号は従来どおり1～25番です。 なお、10名のチームは2名、11名のチームは1名、3年生をブルペン捕手、ブルペン補助、シートノック時の補助員として起用できる。ただし、選手への指示・指導(応援含む)は行えない。補助員は出場選手と同じユニホームの着用はせず、試合前に本部に口頭で申し出ること。
日程 試合開始時刻	予定日:6月7日(日)、14日(日)、21日(日)、28日(日)、7月5日(日)、7月12日(日)・・・6日間 予備日:6月13日(土)、20日(土)、27日(土)、7月4日(土)、11日(土)、18日(日)、20日(月・祝) 第1試合 9:00、第2試合 11:00 第3試合 13:00を原則とし、基本1会場2試合、第1試合 9:00、第2試合 11:00とする。 なお、夏季関東大会の試合日程と重複したチームの試合は、予備日を利用することがある。
審判員	チーム帯同審判員(登録の有無は問わない)とする。なお、決勝戦、3位決定戦、5位決定戦は派遣審判員により行う。
試合	関東連盟大会規程による(関東連盟HPに掲載)。ただし、コールドゲームに3回終了時13点差を加え、決勝戦にもコールドゲームを適用する。 決勝戦も7回終了時点で同点の場合はタイブレークに入る。なお、決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを継続する。 メンバー表は25人記載用を使用し5部提出(コピー可)する。各チーム投球数カウント係1名の協力をお願いします。お互いにカウントし、イニング終了後アナウンスします。 組み合わせ表の若番チームが一塁側とし、敗者戦においても、本戦の若番チームが一塁側とする。チームは、グラウンド到着後速やかにメンバー表、指導者カード、選手カードを提出願います。なお、合同チームと複数参加チームは大会登録書を併せて提出願います。
荒天時の対応	天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。 グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案し、支部競技部長と協議の上、中止または待機を決定し2試合目以降のチームに連絡する。 種々の都合により試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。
表彰	優勝 ・ 準優勝 ・ 第3位 ・ 第4位
大会役員 (敬称略)	
【グラウンド】 グラウンド運営責任者 (事務局長(敬称略)) 駐車台数(マイク含む)	
グラウンド提供チーム 及び グラウンド運営責任者	グラウンド提供チームにやって頂くこと 及び グラウンド運営責任者 本大会は関東連盟夏季大会等と日程が重なるため、各会場に役員を配置することが出来ません。従ってグラウンド提供チームの事務局長は、グラウンド運営責任者として、審判責任者と協力して大会運営に当たって頂きます様願います。尚、運営に当たっては、連盟規定集大会規定、同細則に従い、不明点等は、支部競技部長他役員と協議の上、進行願います。 ・グラウンド運営責任者は、第1試合開始時刻の1時間30分前に集合し、審判のミーティングに参加し当日の運営についての打合せを行う ・7時40分から第1試合チームがアップ出来るように準備する ・グラウンド使用料、審判・役員弁当代の徴収、領収書の発行 審判・役員弁当代の徴収金額=(審判員数+役員数)×800円/試合を行うチーム数 (四捨五入し10円単位まで)+追加飲料代1チーム 1,000円 ・審判及び役員の弁当(1個700円程度)と十分な飲料の手配 ・メンバー表と選手カード、指導者カードを確認する(合同チームと複数参加チームは選手登録書も確認する) ・グラウンド運営責任者は、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップする ・結果並びに次戦の予定は、椿広報部長から各チームに配信し、椿広報部長によりブロックHPにUPする ・ 運営責任者は、準決勝以降千葉日報社への結果報告書を、その日のうちに椿広報部長まで送付(メール、LINE)する。 ・グラウンド地図を用意し、必要なチームにメール等で送付する。(電話は原則夜10時までとする)



【5位決定戦】

【3位決定戦】

[illegible]

6月7日(日)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
1A	茂原G	大羽澤理事	四街道	2	-	7	茂原	八千代	4	-	1	船橋			-		
1B	佐倉G	作田理事	佐倉	4	-	0	千葉北	千葉東	1	-	11	八千代中央			-		
1C	君津G	津野競技員	君津	8	-	1	匝瑳	市原	12	-	7	袖ヶ浦			-		

6月14日(日)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
1D	九十九G	鈴木理事・高木競技員	九十九	0	-	3	成田	佐倉城南	4	-	9	浦安	千葉西	2	-	0	鎌ヶ谷
1E	千葉緑G	椿理事	千葉緑	1	-	6	千葉市	香取	0	-	8	船橋中央			-		
1F	野田G	後藤理事	市川	3	-	2	松戸	野田	1	-	13	木更津			-		
1G	柏G	立松競技員	柏中央	2	-	9	八千代中央V	千葉南	4	-	3	我孫子			-		

7月4日(土)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
2A	成田G	作田理事	成田	2	-	3	浦安	八千代中央V	9	-	0	八千代			-		
2B	佐倉G	椿理事	佐倉	6	-	0	千葉南	市原	4	-	8	柏			-		
2C	茂原G	大羽澤理事	八千代中央	6	-	3	千葉市	茂原	0	-	11	市川			-		
2D	木更津G	粕谷理事	木更津	13	-	0	船橋中央	君津	4	-	11	千葉西			-		

7月5日(日)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
3A	佐倉G	作田理事	市川	2	-	3	佐倉	八千代中央	5	-	3	柏			-		
3B	木更津G	粕谷理事	千葉西	2	-	3	木更津	浦安	6	-	4	八千代中央V			-		

7月12日(日)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
4A	佐倉G	作田理事	佐倉	16	-	5	浦安	市川	4	-	3	八千代中央V			-		
4B	木更津G	粕谷理事	木更津	3	-	8	八千代中央	千葉西	3	-	1	柏			-		

7月18日(土)

試合会場		責任者	第一試合					第二試合					第三試合				
5A	佐倉G	中島理事・椿理事	浦安	0	-	8	木更津	佐倉	4	-	1	八千代中央	市川	0		12	千葉西

2025関東大会タイムテーブル

第一試合

※7時30分グラウンド借り入れ会場の場合

Aタイプ・7分7分が有る会場		Bタイプ・7分7分が無い会場	
7時40分までに提出物（※1）を本部席（理事）へ提出してください。		7時40分までに提出物（※1）を本部席（理事）へ提出してください。	
7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング	7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング
7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ ※寒い時期はバッテリーに限り ボールの使用を可能とする場合がある。（理事の判断） 用具チェック後攻守決め *バックネット前 又は本部席	7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ 遠投・トスバッティングは シートノック迄可能 用具チェック後攻守決め *バックネット前 又は本部席
8:20	トスバッティング（7分以内） &キャッチボール（7分以内）		
8:40	シートノック * 7分以内	8:40	シートノック * 7分以内
9:00	試合開始	9:00	試合開始

第一試合開始は9時とし、早く開始しないようご協力をお願いいたします。

（1日3試合予定・天候によっては早めの開始は可能とします。）

第二試合

第二試合目以降のチームはグラウンド到着後速やかに提出物（※1）を本部席（理事）への提出をお願い致します。

本部役員はアップ会場や用具チェックの時間やタイミングなどを説明する。

※3回終了を目安に攻守決めを行う。

※用具チェックは原則グラウンドイン後ベンチ前にて行う。（天候やなど時間短縮などで変更となる場合あり）

※当日のグラウンドコンディションや天候などにより予定のタイムテーブルと異なる事もあります。

※1 提出物（選手カード・指導者カード・メンバー表・投球数確認シート様式A）

グラウンド到着後、速やかに監督が本部席に提出をお願い致します。

※選手を並べての資格審査は行いません。（カードとメンバー表の照合のみとなります）

< 様式 A >

試合毎の投球数は、
様式 B より転記する。

投 球 数 確 認 シ ー ト

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名：2026年度 千葉日報社杯新人大会

チーム名：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球 場 名																	
試 合 月 日		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
対 戦 相 手		VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS
背番号	投 手 名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
投球数カウント者 確認サイン(自チーム)																	
投球数カウント者 確認サイン(相手チーム)																	
監督 確認サイン																	

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

1日最大90球以内とする。
連続する2日間で130球以内とする。
3連投(連続する3日間)する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし、3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。4連投(連続する4日間)は認めない。
上記の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。

また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。(例:2ボール.1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

試合終了後、本シート(原本)に両チーム投球数カウント者が投球数を記入し、サインをする。その後に、監督へ確認およびサインを受ける。
監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
監督は、連戦等の場合は開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注)連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。

< 様式 B > (1 試合用)

投 球 数 確 認 シ ー ト

【責任審判員保管 (試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2026年度 千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球 場 名 :

< 記 入 例 >		上段 : 投球数を正の字で記入				下段左 : その回の投球数				下段右 : 累計の投球数			
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】													
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

【投球数制限】 注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

1日最大90球以内とする。
連続する2日間で130球以内とする。
3連投(連続する3日間)する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし
3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、
投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。
4連投(連続する4日間)は認めない。
上記 の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席
終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 の場合
3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め
制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能とする。
打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。
また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたバークは投球数にカウントしない。
申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球
は投球数にカウントする。
雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球
数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

・投球数カウント者が様式Aへ転記し、試合終了後、責任審判員が保管する。